

商店街とNPOが連携して親子が安心して遊び、交流できる場を提供。地域の子育てに貢献するとともに、商店街イベントはかつてない賑わいに！

## NPO 法人 子育て支援のNPO まめっこ

### (柳原通商店街振興組合)

機関名	NPO 法人 子育て支援のNPO まめっこ、柳原通商店街振興組合		
所在地	愛知県名古屋市中村区名駅南 1-20-11		
電話番号	052-587-3200		
地域概要	(1)管内人口 160千人	(2)管内商店街数 9商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 1商店街	(2)会員数 92商店	
	(3)空店舗率 4.3%	(4)大型店空き店舗数 0	
	柳原通商店街振興組合		
商店街の種類	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街		

### 【事業名と実施年度】

平成16年度 コミュニティ施設活用事業（保育サービス施設）  
 ・子育て支援施設の設置、運営  
 総事業費 3,043千円

### 【事業実施内容】

#### 1. 背景

愛知県名古屋市中村区の柳原通商店街は、北区の南端に位置し、東を国道41号線、北を堀川、西を名城公園と市営・県営住宅、南を官庁街にそれぞれ接した商店街である。

このような立地環境から城下町として古くから栄え、戦後は公務員や転勤族の住宅街として発展してきた。昭和40年代以降は近郊への大型店の出店や地下鉄の開通に伴い、徐々に人通りが減り空き店舗が目立つようになった。

そうした中で、名古屋市内で親子教室等の子育て支援活動を行っている“NPO法人子育て支援のNPO まめっこ”が、子育て支援施設の開設に向けて物件を探しており、柳原通商店街内の空き店舗に打診があった。「子育て」を切り口とした新しい機能を持つことで新たな来街者を呼び、賑わいを創出できるのではないかと考えたのもと、平成15年度に同NPO法人と柳原商店街振興組合との協調体制による、子育て支援施設「遊モア」が開設・運営された。



柳原商店街の位置図

## NPO 法人子育て支援の NPO まめっこ（柳原通商店街振興組合）

平成 16 年度は、引き続き施設を運営するとともに、広報、交流活動を強化して一層の利用促進を図った。

\*NPO 法人子育て支援の NPO まめっこは、平成 4 年に前身である「ワーカーズてんとうず」として発足、平成 5 年に最初の親子教室をスタートさせた。平成 12 年 1 月に NPO 法人の認証を受け、名古屋市内を中心に親子教室の開設や、子育てに関する講座の企画運営等を行う団体として活動している。

### 2. 事業内容

平成 15 年 7 月に空き店舗を活用して開設した、子育て支援施設「遊モア」を引き続き運営し、「広場事業」と「一時保育事業」を実施した。

平成 16 年度は、一層幅広い方の利用を促進するため、商店街の子ども会との交流会など新たな交流会の企画・開催や、名刺サイズの案内ツールを作成し広報活動を実施した。

#### (1) 施設概要

- ・施設名称 0.1.2.3 歳児とおとなの広場「遊モア」
- ・面積 18 坪
- ・設備 エアコン、床暖房、電子レンジ、冷蔵庫、給湯器、ロッカー
- ・休館日 日曜、祝日、年末年始、特別休館日
- ・運営体制 有給スタッフ登録 12 名が交代で、常時 2～3 名。(保育士有資格者) その他、ボランティアスタッフ 6 名登録。



「遊モアの外観（左）と内部（右）」

#### (2) 事業概要

##### ①広場事業

布・紙・木などの自然な素材を使ったおもちゃを用意して、親子が一緒に遊べるくつろぎスペースを設置したほか、様々な“交流プログラム”を随時実施した。他の親と交流し地域情報や子育ての情報交換の場として、親子の居場所を提供できた。

##### 1) 利用要件

## NPO 法人子育て支援の NPO まめっこ（柳原通商店街振興組合）

- ・利用対象 乳幼児（0～3歳）とその保護者
- ・利用時間 月～金 10～16時、土 10～12時
- ・利用料金 登録料 年間 2,000円  
                   1日券 1人 300円  
                   回数券 3,000円（12日分）

### 2) 交流会

広場事業の一環として、週 1～2 回ペースで楽しみながら学べる交流会を企画・開催し、交流を促すきっかけづくりとした。

#### 例) ・沐浴体験交流会

- ・ベビーマッサージ
- ・子育てパパの遊ぼう会
- ・どうしてる？保育園・幼稚園選び 他多数

幅広い方の利用を促すため、平成 16 年から新たに次の企画を実施し好評を得た。

- ・障がい児とその親の交流会
- ・シングルの親の交流会
- ・柳原通商店街の子ども会との交流会（3回シリーズ）

「万華鏡づくり」、「赤ちゃんのおもちゃづくり」、「赤ちゃんと遊ぼう」

### 3) 広場事業の利用状況

平成 15 年度の利用者は延べ 2,093 人、2 年目の 16 年度は延べ 2,986 人であった。この数値には、チラシ等に付帯した「無料体験券」の利用者や見学者の人数が含まれている。一度体験すると殆どの方が会員登録しており、登録者数は平成 15 年度 101 人から、16 年度 123 人に増加した。通常の利用料を支払っての利用実績は、次の表の通りである。

「広場事業の通常利用の実績（平成 15 年度比較）」

	平成 15 年度		平成 16 年度	
	利用者数（人）	利用料（円）	利用者数（人）	利用料（円）
4 月	(7 月 4 日オープン)		135	78,600
5 月			123	85,900
6 月			157	88,500
7 月	216	185,300	210	148,350
8 月	155	90,500	141	97,200
9 月	185	117,900	176	97,900
10 月	213	128,250	129	64,970
11 月	150	87,900	139	72,150
12 月	146	81,000	141	74,050
翌 1 月	123	81,200	180	100,800
2 月	105	66,300	113	63,800
3 月	169	93,900	161	89,000
合計	1,462	932,250	1,805	1,061,220

## NPO 法人子育て支援のNPO まめっこ（柳原通商店街振興組合）

### ②一時保育事業

#### 1) 利用要件

- ・利用対象 6ヶ月～5歳児
- ・利用時間 月～金 9～17時（2日前までに要予約）
- ・利用料金 800円（5歳児）～1,200円（6ヶ月）（年齢に応じて）

#### 2) 利用状況

平成15年度の延べ利用者数は55人、16年度は112人と増加している。

\*一時保育に無料体験制度は無い。

「一時保育の利用実績（平成15年度比較）」

	平成15年度		平成16年度	
	利用者数（人）	利用料（円）	利用者数（人）	利用料（円）
4月	(7月4日オープン)		13	28,050
5月			8	11,050
6月			10	23,600
7月	3	7,150	12	20,200
8月	3	5,700	11	31,550
9月	3	5,900	11	36,300
10月	9	30,250	13	59,550
11月	4	17,900	10	15,500
12月	8	22,550	4	12,150
翌1月	7	22,800	2	1,050
2月	6	22,850	12	23,300
3月	12	45,900	6	19,000
合計	55	181,000	112	280,300

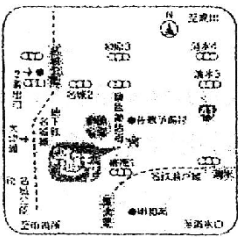
### ③広報活動

施設の認知と利用促進を図るため、独自のHPやチラシによるPRを実施した。

その他、平成16年度から新たに名刺サイズの「案内ツール」を作成した。これは、「病院や公園に行った際に誘いたい友人に手軽に渡せるチラシが欲しい」という利用者の声を聞いたのがきっかけとなり、案内ツールを皆でつくる企画をたて、施設利用者10組の親子とスタッフが協力して実施したものである。

◆ひろば（予約不要）  
月～金 10:00-16:00  
第1・3土曜 10:00-12:00  
料金 1人300円/日  
年間登録料 2000円

◆一時保育  
(2日前までに要予約)  
月～金 9:00-17:00  
料金 6ヶ月～5歳  
1200円～800円/時間



◆交通  
名鉄瀬戸線「東大手」:  
徒歩3分  
地下鉄名城線「名城公園」:  
下車徒歩10分  
市バス路線14番「土居下」:  
バス停前

◆お問い合わせ◆  
〒462-0845 名古屋市北区柳原4丁目2-3  
TEL&FAX 052-915-5550  
ホームページ <http://mamekko.npo.gr.jp>  
メール [mamekko@k6.dion.ne.jp](mailto:mamekko@k6.dion.ne.jp)

※案内ツールはNPO法人「子育て支援のNPO まめっこ」が運営しています。

「名刺サイズの案内ツール」

## 【 効 果 】

### 1. 施設、及び商店街の認知度

運営スタッフと利用者が協力しての広報活動、保健所・児童館・生涯学習センターなど地域の施設での紹介や、数多くのメディアでの掲載を通して「遊モア」の知名度が高まった。加えて、同施設を設置した商店街として柳原通商店街の認知度が高まった。

具体的には、施設の利用者が年間 2,986 人、商店街の夏祭りはこれまでにない賑わいで約 4 万人が訪れた。また、今まで商店街を利用しなかった子ども連れが日常的に来るようになったとの声も多い。

### 2. 商店街の組織

「遊モア」ができたことで、商店街がかみさん会「F. F（ふふ）の会」を立ち上げて、商店街行事をサポートし協力する体制ができた。

### 3. その他

「遊モア」を利用する若い親達が商店街の良さを知るきっかけとなっている。また、商店街にとっても、大型店にはない“顔の見える関係”が安心や信頼を作りだし、買い物に結びつくことに改めて気づかされた。

## 【 課 題 ・ 反 省 点 】

### 1. 事業費の確保

地域の親子の交流会を多数企画し実施しているが、予算確保が難しく安定的でない。継続安定した運営実施のための方策が必要である。

### 2. 人的体制

スタッフの育成とスキルアップが課題である。アルバイト程度の収入にしかならないため、次の若い世代のスタッフの安定的確保、スキルアップが難しい。

また、「遊モア」のシステムや事業内容は理解して頂けても、料金を払って遊び場を利用することが全ての人に理解されているわけではないことも現実である。スタッフの研修や話し合いを重ね、「また来たい」と思われる環境づくりやスタッフの質の向上に努めたい。

## 【 事 業 の 実 施 ポ イ ン ト 】

子育て支援事業は儲けだけを考えてはやれない。地域社会全体、商店街全体で子育てを支える仕組みをつくることを、新たな商店街の機能を創るきっかけととらえ、商店もうまく活用することを検討する。

## 【 関 連 U R L 】

NPO 法人 子育て支援の NPO まめっこ <http://www.h5.dion.ne.jp/~mamekko/>